

聴覚障がい者等・外国人来訪者向け会話支援アプリ2種の採用について

島根銀行(頭取 青山泰之)では、聴覚障がい者等や山陰両県への外国人来訪者に対する会話支援を目的とし、国立研究開発法人-情報通信研究機構(NICT)が研究開発し、社会実証している会話支援アプリ2種を全店の営業用タブレット端末(iPad)に搭載し、活用していくこととしましたのでお知らせいたします。

なお、平成28年12月26日現在、上記2種類の会話支援アプリの活用開始は、山陰の公共団体・企業では当行が初、金融機関では京都銀行に続き二行目となります。

記

1. 採用する会話支援アプリ概要

アプリ名称等	概要	設置状況
SpeechCanvas(スピーチキャンバス) (以下「スピーチキャンバス」という。)	聴覚障がい者と健聴者との会話を音声認識技術により、サポートするアプリ	全営業店のiPad133台に搭載する。 島根県店舗 99台 鳥取県店舗 31台 本部担当部 3台
VoiceTra(ボイストラ) (以下「ボイストラ」という。)	多言語音声翻訳アプリ	

2. 活用目的

(1)スピーチキャンバス

当該アプリを聴覚障がい者や聴力が低下したお客様とのコミュニケーションツールの一つとして新たに加えることで、聴覚障がい者等の利便性・顧客満足度の向上を図る。

(2)ボイストラ

当該アプリを活用することで、外国人来訪者とのコミュニケーションを積極的に行い、外国人来訪者の利便性向上を図ることで、インバウンド戦略による地域の振興策として地方創生に貢献する。

(3)共通

(1)(2)の目的を果たしながら、これらのアプリの活用結果をまとめ、NICTに報告することで、アプリの精度向上に貢献し、聴覚障がい者や訪日外国人ユーザーが、より使いやすいアプリケーションの実現に協力する。

3. 特徴、活用シーン例等

	機能・特徴	想定する活用シーン例
スピーチキャンバス	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい者と健聴者との会話を音声認識技術により、サポートするアプリで、話した言葉が次々と画面上で文字になり、画面を指でなぞれば絵や文字がかける。 ・インターネットが繋がらなくても音声認識する。 ・よく使うフレーズを登録したり、対話の履歴を有効活用したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい者等と、当該アプリにより、音声と筆談で会話する。 特に、お約束の日時や金額、リスク性商品の説明時の重要事項等を画面で示したり、誤認防止や理解度確認のために画面履歴を残したりできる。
ボイストラ※	<ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞き取り、翻訳し、発声する多言語音声翻訳アプリで(日英中韓など31言語に対応)、旅行会話を対象とした日英の翻訳性能はTOEIC600点程度の語学力に相当する。 ・話した音声や対訳文例を多く集めれば集めるほど、スムーズな言葉に音声翻訳される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客等が目的地や目的ルート・交通手段に迷っている場面に、行員が遭遇した際、アプリを活用して道案内をしたり、簡単な旅行会話でコミュニケーションをとる。 ・海外発行カード対応 ATM 利用者に対し、アプリを活用して操作説明する。(海外発行カード対応 ATM は、平成29年2月13日にJR松江駅近隣に新築移転オープンする本店に設置される。)

※店舗外から見える箇所に、右図のようなボイストラのシンボルマークを掲示する予定です。



VoiceTra^{NICT}

4. 活用開始

平成29年1月4日(水)

5. 参考(国立研究開発法人-情報通信研究機構(NICT)について)

NICTは、情報通信分野を専門とする唯一の公的研究機関として、情報通信技術(ICT)の研究開発を推進するとともに、情報通信事業の振興業務を行っている。



以上

本リリースに関する問い合わせ先
島根銀行 業務企画グループ
担当：金津 TEL (0852) 24-1240